

最新（1992年－1993年）の SIDS 関連文献の検討 （分担研究：乳幼児突然死症候群（SIDS）に関する研究）

渡辺 登

要約：1992年～1993年度に医学中央雑誌及び Index Medicus に見られた SIDS 関連文献208編の文献学的検索を行った。疫学では、イングランド・ウェールズの1.3、イスラエルの0.47～0.90、ニュージーランドの3.53、神奈川県0.34という発生頻度の報告がみられ、うつ伏せ寝を止めれば本症は減少するという報告が多く、添い寝との関係を論じる報告もみられた。病因・病態では、昨年度に引き続き、脳幹部の形態と機能に関するものが多くみられたが、感染も発症と密接な関係にあるのではないかという報告も見られた。スクリーニング、ホームモニタリング、家族への対応といった分野では総説が主であり、研究論文の報告はほとんど見られなかった。

見出し語：乳幼児突然死症候群、SIDS、うつ伏せ寝、添い寝、bacterial toxin

I. はじめに

本研究年度に医学中央雑誌及び Index Medicus に見られた SIDS 関連文献は邦文26編、欧文182編（このうち4編は本邦よりの文献）の計208編で、最近になく多くの文献が報告された。これは内外7誌（J Clin Pathol、Clin Perinatol、N J Med、J Paediatr Child Health、Neurochem Int、小児内科、周産期医学）に本症の特集が生まれ総説の数が多かったためであり、本邦よりの文献も原著は6編に過ぎなかった。この内2編は疫学的な研究であり、4編の欧文は全て病理学的な報告であった。欧文は、オーストラリア、ニュージーランドとアメリカ、イギリス、フランスなどからのものが多く、前者からは臨床的な研究が、後者からは基礎的な研究が多かった。

内容的には、いくつかの優れた総説の他に、昨年度に引き続き、中枢神経系、特に脳幹部における病理、病態に関するものやうつ伏せ寝の疫学、病態生理に関するものが中心であったが、今年度は添い寝に関する報告がいくつか見られたのが特徴であった。

II. 疫学

発生頻度（出生1000に対する）は、イングランド・ウェールズ（1846）で1988年の2.0が1991年には1.3と35%も

低下したという報告やイスラエル（1854）の0.47～0.90（1980年から1983年）、ニュージーランド（1935）の3.53（1988年から1990年の3年間の平均）、神奈川県（2029）の0.34（1991年）という報告がみられた。神奈川県0.34の発生頻度は、アンケートの回収率が57.9%、本症の剖検率が63%と共に非常に高かったことより信頼し得るものと思われ、本邦における本症の発生が欧米に較べ極端に低いことが証明された。

ニュージーランド（1935）では1988年から1990年の3年間に、485名の本症と1800名のコントロールとを比較するという大規模な疫学的研究が実施された。それによると本症は postneonatal death の原因の68%を占め圧倒的に1位であり、うつ伏せ寝、添い寝、母親の喫煙、非母乳栄養といった改善することが可能な4つの因子が明らかに疫学的リスク因子であり、これら4つのリスク因子を改善すれば発生頻度を3.5から0.7以下に低下させることができると報告している。

アメリカ（1921）では母親の薬物中毒が問題になっており、妊娠可能な女性の8.8%がなんらかの薬物を乱用しており、薬物中毒の母親を持つ乳児では本症の発生が非常に高いことが報告されている。一方イギリス（1966）

では、イギリス在住のアジア系乳児には本症の発症が少ないことから、バングラディッシュ出身の母親60人にインタビューし、アジア系の乳児に発症が少ないのは乳児がいつも豊かな感覚刺激を受けられる環境で育てられているからではないかと報告している。

また従来からいわれている、母親の年齢、在胎週数、出生体重、アプガールスコアなどの疫学的リスク因子は、対象を厳密に選別した場合は従来いわれているほどはリスクが高くないという報告(2020)もあった。

その他、人種差(1830,1965)、タバコとの関係(1864,1915,2025)、環境温度や気温との関係(1939,2004)、育児環境(1971,1989)、虐待との関係(2006,2021)、周産期感染との関係(1855)、分娩様式との関係(2013)に関する文献などがみられた。

Ⅲ. うつ伏せ寝と添い寝

うつ伏せ寝と本症の関係はほぼ確立された感があり肯定的な意見(1863,1903,1906,1959,1980,2009,2023,2024,2028)が多いが、否定的な意見(1836,1848,1867,1876)も散見された。

ニュージーランド(1936)では1988年から90年の3年間にうつ伏せ寝を40%から0%に減らせれば、本症の発生頻度を4から2に出来ると予想し、実際にはうつ伏せ寝は20%にしか減らせなかったが、予想通り発生頻度を3.1にすることができ、うつ伏せ寝が重要なリスク因子であることを立証した。南オーストラリア(2005)でもうつ伏せ寝を39%(84年/85年)から11%(91年/92年)に減らすことにより発生頻度を2.1から1.1に低下できたと報告している。

うつ伏せ寝に関係したリスク因子の報告(2010)では、天然繊維マットレスを使用したり、からだをシーツなどでくるんだり、軽い感冒様症状があったり、部屋を暖房していたりすると本症の発症が著しく高くなると報告されている。うつ伏せ寝によりどのようにして本症が発症するのかが不明な点が多いが、再呼吸による偶然の窒息が起こるためであるとする報告(1997)がある。この報告は本症の発現場を忠実に再現し、患児頭部のマネキンを作り、それを通してウサギに呼吸をさせて再呼吸の影響を見たものであり、再呼吸により致死的な呼吸不全が生じることを立証したものである。

添い寝に関しては今まで本症を予防する可能性が示唆されていたが、疫学的な報告も病態生理学的な報告もほとんどなされていなかった。呼吸モニターをつけて添い

寝をしていたにもかかわらず本症になってしまった症例報告(1832)や添い寝は疫学的なリスク因子であるという報告(1935)が見られる一方、添い寝は睡眠の発達を促し、体温を安全な範囲に調節し、生体リズムの確立を助けるという肯定的な総説(2027)がだされている。この総説の中で McKenna は preliminary study としながらも、添い寝の場合は睡眠中の覚醒の頻度が増加したり、母と児の覚醒が同調する割合が増加したり、児の深い睡眠が減少したりすることを示して、生理学的にも添い寝が本症を予防し得ることを示唆した。しかし添い寝をしていても本症が発症する場合もあり、添い寝の環境を詳細に検討したり、児の体温や呼吸に添い寝がどのように影響するかを可及的速やかに検討する必要がある、添い寝を習慣としているアジア地域の研究者に対して大きな期待がかけられている。

Ⅳ. 病因・病態

従来と同じように突然死の隠された原因として、心疾患(1860,1861)セレンウム不足(1896,1912)マグネシウム欠乏(1822,1987) Vit E 欠乏(1913) RS 感染症(1942)病原性大腸菌(1914)腸軸捻転症(1840)脳腫瘍(1859)などが報告されているが、Medium chain acyl-CoA dehydrogenase deficiency (1996)や GER (1901,2017)などは従来いわれているほどの関係はないといわれている。

病因病態論の主流は、昨年度に引続き、中枢神経系、特に脳幹部の形態と機能に関するものである。呼吸調節中枢を抑制する内因性 opioid については、ネコの実験では経静脈投与により呼吸数が減少するという報告(1841)、本症では視床下部後部に局在性を示すという報告(1891)、本症の CSF では高値を示すという報告(1892)などがあり、本症の発症に内因性 opioid による呼吸調節障害の関与が示唆された。

病理学的には、本症の舌下神経核のニューロンの数と密度が異常であるという報告(1900)、孤束核の成長に伴う電気生理学的代謝学的変化についての報告(1842)や組織化学的な報告(1893,2008)、線状体の組織化学的な報告(1995)などがみられた。本症では孤束核でのみ neurotensin が高値を示したり、孤束核の phenylethanolamine-N-methyltransferase が低値を示したりし、孤束核の未熟性が示唆された。また本症では線状体の dopamine や cholinergic neuronal enzyme が低下しており、線状体の発達の遅延が示唆された。

生理学的には、sleep study による cardiorespiratory

の変化や arousal response についての報告が多い。ベルギー (1904) からの 20750 名の prospective な sleep study の報告では、30 名の本症と 60 名のコントロールとを比較し、本症では睡眠中の発汗や溢乳が多く、睡眠パターンや心拍数変動に差はないが、体動が少なく閉塞性呼吸パターンが多いと報告されている。アメリカからは、本症の同胞や ALTE を対象に食道内圧をモニターし上気道抵抗の変化と覚醒を伴う呼吸努力の有無について検討した報告 (1998) や ALTE とコントロールを比較し、男児の ALTE では成長に伴う覚醒時間の増加や REM 期の減少が悪いという報告 (2007) がある。

今年度は感染に関する報告がいくつか見られたが、細菌やウイルスの toxin についての報告 (1868, 1972, 1982) が多く、Staph aureus の pyrogenic toxin が、ウイルス感染やからだを包み過ぎたりうつ伏せ寝にすることにより、体温が上昇し急激に増加して本症を発症させるという仮説も報告されている (1983)。

その他、心臓の神経調節に関する報告 (1934, 1962) や慢性の低酸素症説を支持する報告 (1828, 1845, 1963, 2000) などが散見された。

V. ハイリスク児のスクリーニングとホームモニタリング

ハイリスク児のスクリーニングに関しては総説的な報告がいくつかあるが、シェフィールドスコアのような疫学的リスク因子によるスコアリングは臨床的な有用性はないという報告 (1925) や生後 3 ヶ月での尿代謝異常スクリーニングもほとんど異常を発見できないという報告 (2026) など否定的な報告しかない。

ホームモニタリングに関しては最近の実施状況に対する報告がアメリカ (1834) とカナダ (1916) からなされているが、有効性に関しては言及されておらず今後の継続的な研究の必要性が述べられているに過ぎない。一方、ホームモニタリングとは別に、シェフィールドスコア 600 点以上の very high risk 児に対する頻回な訪問看護を含む予防計画が有効であったという報告 (1957) やニュージーランドではうつ伏せ寝、添い寝、母親の喫煙、非母乳栄養の 4 つのリスク因子を減少させるために、テレビ、雑誌、パンフレット、ステッカーなどによる大々的な計画的キャンペーンを実施し効果があったという報告 (2012) などがみられた。

VI. 家族への対応

家族への対応、心理的アプローチ、カウンセリング、サポートプログラムなどに関してはいくつかの総説

(1924, 1930, 1932, 1954) を見るに過ぎなかった。

文献

- 1822) DURLACH J, DURLACH V, RAYSSIGUIER Y, RICQUIER D, GOUBERN M, BERTIN R, BARA M, GUIET-BARA A, OLIVE G, METTEY R., MAGNESIUM AND THERMOREGULATION. I. NEWBORN AND INFANT. IS SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME A MAGNESIUM-DEPENDENT DISEASE OF THE TRANSITION FROM CHEMICAL TO PHYSICAL THERMOREGULATION?, MAGNES RES. 4(3-4):137-52, 1991
- 1823) 田崎 考, 県下における小児の死因 (昭和 56-60 年 突然死検討より.) [NO. 1394, NO. 1546 と同じ内容. NO.1546等がくわしい文献. SEE NO1394 OR NO1546], 日小児会誌, 94(10)2268, 1990
- 1824) 大岡 真彦, 小児の突然死, 日本医師会雑誌, 106(9):1390-4, 1991
- 1825) 田中 哲郎, 小児救急. 救急においてはまれであるが緊急処置が必要となる疾患. 突然死, 救急医学, 15(10):1216-7, 1991
- 1826) KAHN A, REBUFFAT E, SOTTIAUX M, GROSSWASSER J, J. MICHEL D. SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME AN UPDATE ON EPIDEMIOLOGY AND CARDIORESPIRATORY MECHANISMS., AN ESP PEDIATR. 35SUPPL46:49-54, 1991
- 1827) HOPPENBROUWERS T, POLYSOMNORAPY IN NEWBORNS AND YOUNG INFANTS : SLEEP ARCHITECTURE. J CLIN NEUROPHYSIOL, 9(1):32-47, 1992
- 1828) GILBERT-BARNES E, VALDES-DAPENA M, STEINCHNEIDER A, CHANDRA S. REPRODUCIBILITY OF NAEYE'S SEVEN TISSUE MARKERS OF HYPOXIA [LETTER]. PEDIATR PATHOL, 12(3):481-2, 1992
- 1829) STANTON A, CHILD PROTECTION REGISTRATION AND SIBLINGS, DIAGNOSED AS SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME (SIDS) [LETTER]. CHILD ABUSE NEGL. 16(5):777-8, 1992
- 1830) IRWIN K L, MANNINO S, DALING J. SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME IN WASHINGTON STATE : WHY ARE NATIVE AMERICAN INFANTS AT GREATER RISK THAN WHITE INFANTS ? , J PEDIATR, 121(2)242-247, 1992
- 1831) MOULTON C. SUDDEN INFANT SYNDROME [LETTER] . BR J GEN PRACT. 42(358):216-7, 1992
- 1832) GUNN T R, DAVIS S, TONKIN S. BED SHARING AS A RISK FACTOR FOR SUDDEN INFANT DEATH (COT DEATH) [LETTER]. N Z MED J. 105(932):155-6, 1992
- 1833) LIMERICK S R, GARDNER A. WHAT COUNTS AS COT DEATH ? [LETTER]. B M J. 304(6835):1176, 1992
- 1834) AHMANN E, MENY R G, FINK R J. USE OF HOME APNEA MONITORS, J OBSTET GYNECOL NEONATAL NURS. 21(5):394-9, 1992
- 1835) MOUTERDE O, DACHER JN, BASUYAU JP, MALLET E. GASTRIC SECRETION IN INFANTS. APPLICATION TO THE STUDY OF SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME AND APPARENTLY LIFE-THREATENING EVENTS., BIOL NEONATE, 62(1):15-22, 1992
- 1836) MITCHELL E K. MATTRESSES, BED, AND BEDDING IN DEATHS OF INFANTS [LETTER] , AM J FORENSIC MED PATHOL, 13(2):173, 1992
- 1837) MITCHELL E A, ALEY P, EASTWOOD J. THE NATIONAL COT DEATH PREVENTION PROGRAM IN NEW ZEALAND. AUST J PUBLIC HEALTH, 16(2):158-61, 1992
- 1838) HOLBOROW P L. BED SHARING OR LUNG FLUID AS A CAUSE OF COT DEATH ? [LETTER] , N Z MED J, 105(938):297, 1992

- 1839) GUNN T R, DAVIS S, TONKIN S. COT DEATH [LETTER], *N Z MED J*, 105 (939):318, 1992
- 1840) WONG S W, GARDNER V, SUDDEN DEATH IN CHILDREN DUE TO MESENTERIC DEFECT AND MESENTERIC CYST, *AM J FORENSIC MED PATHOL*, 13 (3):214-6, 1992
- 1841) MORIN-SURUN M P, BOUDINOT E, FOURNIE-ZALUSKI M C, CHAMPAGNAT J, ROQUES B P, DENAVIT-SAUBIE M, CONTROL OF BREATHING BY ENDOGENOUS OPIOID PEPTIDES : POSSIBLE INVOLVEMENT IN SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME, *NEUROCHEM INT*, 20(1):103-7, 1992
- 1842) SCHWEITZER P, FORTIN G, BELOEIL J C, CHAMPAGNAT J, IN VITRO STUDY OF NEWBORN RAT BRAIN MATURATION : IMPLICATION FOR SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME, *NEUROCHEM INT*, 20 (1) : 109-12, 1992
- 1843) SHANNON W, THE QUALITY OF CARE AFTER SUDDEN INFANT DEATH IN IRELAND (1990) . *IR MED J*, 85(4SUPPLE)12-3, 1992
- 1844) GORMALLY S M, MATTHEWS T G, CONTEMPORARY RISK FACTORS FOR SUDDEN INFANT DEATH IN AN IRISH POPULATION -- A CASE CONTROL STUDY, *IR J MED SCI*, 161 (5) :131-4, 1992
- 1845) EAGAN D G, WALKER A, HAEMOGLOBIN F LEVELS IN SUDDEN INFANT DEATHS, *BR J HAEMATOL*, 82 (2) : 422-30, 1992
- 1846) GORDON R R, POSTNEONATAL MORTALITY IN ENGLAND, WALES AND SWEDEN [LETTER] . *B M J*, 305 (6861) :1095, 1992
- 1847) GUILLEMINAULT C, STOOHS R, FROM APNEA OF INFANCY TO OBSTRUCTIVE SLEEP APNEA SYNDROME IN THE YOUNG CHILD, *CHEST*, 102(4) :1065-71, 1992
- 1848) FLEMING P J, STEWART A J, WHAT IS THE IDEAL SLEEPING POSITION FOR INFANTS?, *DEV MED CHILD NEUROL*, 34 (10) :916-9, 1992
- 1849) BASS M, HASS R, NEAR DEATH IN TWINS, REPORTED 22 YEARS AGO [LETTER] . *J A M A*, 268 (14) : 1860, 1992
- 1850) HISAOKA M, HARATAKE J, NAKAMURA Y, ITOH Y, PANCREATIC ISLET ABNORMALITIES IN SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME. QUALITATIVE AND QUANTITATIVE ANALYSES OF 15 CASES, *ACTA PATHOL JPN*, 42(12) :870-5, 1992
- 1851) FROM THE CENTERS FOR DISEASE CONTROL. SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME -- UNITED STATES, 1980-1988, *J A M A*, 268(7) :856, 858, 1992
- 1852) ALLAN T M, BIBLIOGRAPHY ON COT DEATH NEEDED [LETTER] . *B M J*, 305 (6851) :477-8, 1992
- 1853) KAADA B, SPURKLAND A, NO ASSOCIATION BETWEEN HLA-DR2, AND THE SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME [LETTER] . *ACTA PAEDIATR*, 81 (3)283, 1992
- 1854) SIVAN Y, SHEN G, SCHONFELD T, NITZAN M, NUTMAN J, SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME IN THE TEL AVIV AND PETAH TIKVA DISTRICTS, *ISR J MED SCI*, 28(7) :430-5, 1992
- 1855) RODRIGUES L C, MARSHALL T, MURPHY M, OSMOND C, SPACE TIME CLUSTERING OF BIRTHS IN SIDS : DO PERINATAL INFECTIONS PLAY A ROLE ? , *INT J EPIDEMIOL*, 21(4) :714-9, 1992
- 1856) BUNAI Y, OHYA I, BRINKMANN B, PATHOLOGICAL APPROACHES TO SIDS. I. SPECIAL EMPHASIS ON THE HISTOPATHOLOGICAL DIFFERENCES BETWEEN SIDS AND ASPHYXIA, *NIPPON HOIGAKU ZASSHI*, 46 (6) : 405-6, 1992
- 1857) SATO Y, KAGEHARA B, MUKAI T, ENDO T, DIAGNOSIS OF ASPHYXIA ON THE SUDDEN INFANT DEATH -- PRONE SLEEPING POSITION AND VOMIT ASPIRATION, *NIPPON HOIGAKU ZASSHI*, 46(6) :407-12, 1992
- 1858) KELLEY J, ALLSOPP D, HAWKSWORTH D L, SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME (SIDS) AND THE TOXIC GAS HYPOTHESIS : MICROBIOLOGICAL STUDIES OF COT MATTRESSES, *HUM EXP TOXICOL*, 11 (5) : 347-55, 1992
- 1859) AOKI Y, TERUNUMA H, IWASAKI Y, NATA M, SAGISAKA K. A CASE OF SUDDEN INFANT DEATH DUE TO MASSIVE HEMORRHAGE IN PRIMITIVE NEUROECTODERMAL TUMOR, *AM J FORENSIC MED PATHOL*, 13(3) :199-203, 1992
- 1860) LALU K, KARHUNEN P J, RAUTIAINEN P, SUDDEN AND UNEXPECTED DEATH OF A 6- MONTH- OLD BABY WITH SILENT HEART FAILURE DUE TO ANOMALOUS ORIGIN OF THE LEFT CORONARY ARTERY FROM THE PULMONARY ARTERY, *AM J FORENSIC MED PATHOL*, 13(3) :196-8, 1992
- 1861) HERRMANN M A, DOUSA M K, EDWARDS W D, SUDDEN INFANT DEATH WITH ANOMALOUS ORIGIN OF THE LEFT CORONARY ARTERY, *AM J FORENSIC MED PATHOL*, 13(3) :191-5, 1992
- 1862) MOLZ G, BRODZINOWSKI A, BAR W, VONLANTHEN B, MORPHOLOGIC VARIATIONS IN 180 CASES OF SUDDEN INFANT DEATH AND 180 CONTROLS, *AM J FORENSIC MED PATHOL*, 13(3) :186-90, 1992
- 1863) BASS M, WATERBEDS AND SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME [LETTER] . *AM J FORENSIC MED PATHOL*, 13(2) :173-4, 1992
- 1864) MALLOY M H, HOFFMAN H J, PETERSON D R, SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME AND MATERNAL SMOKING, *AM J PUBLIC HEALTH*, 82(10) :1380-2, 1992
- 1865) BROWN P J, DOVE R A, TUFFNELL C S, FORD R P K, OSCILLATIONS OF BODY TEMPERATURE AT NIGHT, *ARCH DIS CHILD*, 67(10) :1255-8, 1992
- 1866) BUVE A, RODRIGUES L C, SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME : DOES WINTER AFFECT POOR AND RICH BABIES EQUALLY ? , *J EPIDEMIOL COMMUNITY HEALTH*, 46(5) :485-8, 1992
- 1867) ORENSTEIN S R, THROWING OUT THE BABY WITH THE BEDDING. A COMMENTARY ON THE A. A. P STATEMENT ON POSITIONING AND SIDS [EDITORIAL] . *CLIN PEDIATR*, 31(9) :546-8, 1992
- 1868) DRUCKER D B, ALUYI H S, MORRIS J A, TELFORD D R, GIBBS A, LETHAL SYNERGISTIC ACTION OF TOXINS OF BACTERIA ISOLATED FROM SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME, *J CLIN PATHOL*, 45 (9) : 799-801, 1992
- 1869) DRUCKER D B, ALUYI H A, MORRIS J A, TELFORD D R, OPPENHEIM B A, CRAWLEY B A, POSSIBILITY OF SEPARATING TOXINS FROM BACTERIA ASSOCIATED WITH SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME USING ANION EXCHANGE CHROMATOGRAPHY, *J CLIN PATHOL*, 45(9) :802-5, 1992
- 1870) 木部 哲也, 浅井 雅美, 藤本 伸治, 岡島 一樹, 木内 正信, 側島 久典, 鈴木 重澄, 渡辺 勇, 戸薊 創, 和田 義郎, SIDS (乳幼児突然死症候群) と未定型 SIDS の発生状況—愛知県下の主要施設のアンケート調査から— . *日本小児科学会雑誌*, 94 (6) 1389-94, 1990
- 1871) 坂上 正道, 突然死 入院中に突然死した SIDS, *総合臨*, 40(6) :1121-2, 1991
- 1872) 渡辺 登, 症候からみた小児の診断学 特殊な問題 突然死, *小児科診察*, 54(増刊) :646-50, 1991
- 1873) FAROOQI S, PERRY I J, BEEVERS D G, ETHNIC DIFFERENCES IN SLEEPING POSITION AND IN RISK OF COT DEATH [LETTER] . *LANCET*, 338 (8780) : 1455, 1991
- 1874) 高島 幸男, 乳幼児突然死症候群とその予防対策, *小児科*,

- 611-8, 1991
- 1875) 水田 隆三, NEAR-MISS SIDS の診断基準, 小児臨床, 44:829-34, 1991
- 1876) NACZK A, SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME [LETTER], BR J GEN PRACT, 42(356):130, 1992
- 1877) BENNETT M J, COMPARISON OF POST-MORTEM URINARY AND VITREOUS ORGANIC ACIDS, ANN CLIN BIOCHEM, 29(PT5):541-5, 1992
- 1878) HOPCROFT K, SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME [LETTER], BR J GEN PRACT, 42(355):78, 1992
- 1879) SYMPOSIUM ON SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME. LONDON, 23 JANUARY 1992. [NO.1880, 1881, 1882, 1883, 1884, 1885, 1886, 1887, 1888, 1889, 1890 を内容とする], J CLIN PATHOL, 45 (11SUPPL) 1-48, 1992
- 1880) THE SIDS PHENOMENON : AN UPDATE [SEE ALSO 1879], J CLIN PATHOL, 45(11SUPPL):1-2, 1992
- 1881) LIMERICK S R, SUDDEN INFANT DEATH IN HISTORICAL PERSPECTIVE, J CLIN PATHOL, 45 (11SUPPL) :3-6, 1992
- 1882) GIBSON A A, CURRENT EPIDEMIOLOGY OF SIDS, J CLIN PATHOL, 45(11SUPPL)7-10, 1992
- 1883) BERRY P J, PATHOLOGICAL FINDINGS IN SIDS, J CLIN PATHOL, 45(11SUPPL)11-6, 1992
- 1884) FLEMING P J, AZAZ Y, WIGFIELD R, DEVELOPMENT OF THERMOREGULATIONS IN INFANCY : POSSIBLE IMPLICATIONS FOR SIDS, J CLIN PATHOL, 45 (11SUPPL)17-9, 1992
- 1885) BLACKWELL C C, SAADI A T, RAZA M W, STEWART J, WEIR D M, SUSCEPTIBILITY TO INFECTION IN RELATION TO SIDS, J CLIN PATHOL, 45 (11SUPPL) 20-4, 1992
- 1886) HOWATSON A G, VIRAL INFECTION AND ALPHA INTERFERON IN SIDS, J CLIN PATHOL, 45 (11SUPPL) 25-8, 1992
- 1887) FLEMING K A, VIRAL RESPIRATORY INFECTION AND SIDS, J CLIN PATHOL, 45(11SUPPL)29-32, 1992
- 1888) BONHAM J R, DOWNING M, METABOLIC DEFICIENCIES AND SIDS, J CLIN PATHOL, 45 (11SUPPL) 33-8, 1992
- 1889) BURCHELL A, LYALL H, BELL E, HUME R, GLUCOSE METABOLISM AND HYPOGLYCAEMIA IN SIDS, J CLIN PATHOL, 45(11SUPPL)39-45, 1992
- 1890) ROCHE W R, IMMUNOPATHOLOGY OF SIDS, J CLIN PATHOL, 45(11SUPPL)46-8, 1992
- 1891) PASI A, MEHRAEIN P, JEHLE A, TRAUB M, MORNIROLI G, BAR W, KOPP N, BETA-ENDORPHIN : REGIONAL LEVELS PROFILE IN THE BRAIN OF THE HUMAN INFANT, NEUROCHEM INT, 20(1):93-5, 1992
- 1892) COQUEREL A, BETA-ENDORPHIN AND NEUROTENSIN IN BRAINSTEM AND CEREBROSPINAL FLUID IN THE SUDDEN INFANT SYNDROME, NEUROCHEM INT, 20(1):97-102, 1992
- 1893) CHIGR F, QUANTITATIVE AUTORADIOGRAPHIC STUDY OF SOMATOSTATIN AND NEUROTENSIN BINDING SITES IN MEDULLA OBLONGATA OF SIDS, NEUROCHEM INT, 20(1):113-8, 1992
- 1894) SANKER P, ROTH B, FROWEIN R A, FIRSCHING R, CEREBRAL REPERFUSION IN BRAIN DEATH OF A NEWBORN. CASE REPORT, NEUROSURG REW, 15 (4) 315-7, 1992
- 1895) KOPP N, NAJIMI M, CHAMPIER J, CHIGR F, CHARNAY Y, EPELBAUM J, JORDAN D, ONTOGENY OF PEPTIDES IN HUMAN HYPOTHALAMUS IN RELATION TO SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME (SIDS), PROG BRAIN RES, 93:167-87, 1992
- 1896) WINTERBOURN C C, DIETARY SELENIUM [LETTER], N Z MED J, 105(946):481, 1992
- 1897) HOLBOROW R L, BED SHARING OR IRON SUPPLEMENTATION AS A CAUSE OF COT DEATH ? [LETTER], N Z MED J, 105(944):436-7, 1992
- 1898) GUNTHEROTH W G, ON SUDDEN SEVERE BRADYCARDIA IN INFANCY [LETTER], PEDIATR PULMONOL, 13 (1):62-3, 1992
- 1899) KELMANSON I A, DIFFERENCES IN SOMATIC AND ORGAN GROWTH RATES IN INFANTS WHO DIED OF SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME, J PERINAT MED, 20(3):183-8, 1992
- 1900) O'KUSKY J R, NORMAN M G, SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME : POSTNATAL CHANGES IN THE NUMERICAL DENSITY AND TOTAL NUMBER OF NEURONS IN THE HYPOGLOSSAL NUCLEUS, J NEUROPATHOL EXP NEUROL, 51(6):577-84, 1992
- 1901) NIELSON D W, RISK OF SUDDEN INFANT DEATH FROM GASTROESOPHAGEAL REFLUX [LETTER], J PEDIATR SURG, 27(3):417-9, 1992
- 1902) GLOMB W B, MARCUS C L, KEENS T G, WARD S L D, HYPERCAPNIC AND HYPOXIC VENTILATORY AND CARDIAC RESPONSES IN SCHOOL-AGED SIBLINGS OF SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME VICTIMS, J PEDIATR, 121(3):391-7, 1992
- 1903) BARNES L A, CILBERT-BARNES E, SLEEPING POSITION AND SUDDEN INFANT DEATH [LETTER], PEDIATRICS, 90(5):782-3, 1992
- 1904) KAHN A, GROSWASSER J, REBUFFAT E, SOTTIAUX M, BLUM D, FOERSTER M, FRANCO P, BOCHNER A, ALEXANDER M, BACHY A, RICHARD P, VERGHOTE M, LE POLAIN D, WAYENBERG J L, SLEEP AND CARDIORESPIRATORY CHARACTERISTICS OF INFANT VICTIMS OF SUDDEN DEATH : A PROSPECTIVE CASE-CONTROL STUDY., SLEEP, 15(4):287-92, 1992
- 1905) KOZAKEWICH H, FOX K, PLATO C C, CRONK C, MANDELL F, VAWTER G, DERMATOGLYPHICS IN SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME, PEDIATR PATHOL, 12 (5)637-51, 1992
- 1906) CHYBOWSKI T J, SHEEPSKIN RUGS LINKED TO CRIB DEATH, WIS MED J, 91(8):485-6, 1992
- 1907) VAN DEN BERGH F A, DEL CANHO H, DURAN M, METHYLMALONIC ACIDURIA AND SUDDEN CHILD DEATH, J INHERIT METAB DIS, 15(6):897-8, 1992
- 1908) BENNETT M J, RAGNI M C, HOOD I, HALE D E, AZELAIC AND PIMELIC ACIDS : METABOLIC INTERMEDIATES OR ARTEFACTS?, J INHERIT METAB DIS, 15(2):220-3, 1992
- 1909) KELLY D P, HALLE D E, RUTLEDGE S L, OGDEN M L, WHELAN A J, ZHANG Z, STRAUSS A W, MOLECULAR BASIS OF INHERITED MEDIUM-CHAIN ACYL-COA DEHYDROGENASE DEFICIENCY CAUSING SUDDEN CHILD DEATH, J INHERIT METAB DIS, 15 (2) : 171-80, 1992
- 1910) KELLY D P, WHELAN A J, HALE D E, RINALDO P, RUTLEDGE S L, ZHANG Z, STRAUSS A W, MOLECULAR CHARACTERIZATION OF MEDIUM-CHAIN ACYL-COA DEHYDROGENASE DEFICIENCY CAUSING SUDDEN DEATH, PROG CLIN BIOL RES, 375:463-72, 1992
- 1911) MILLER M, FREQUENCY OF G-985 MUTATION IN MEDIUM CHAIN ACYL-COENZYME A DEHYDROGENASE (M CAD) DEFICIENCY IN SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME, PROG CLIN BIOL RES, 375:495-8, 1992
- 1912) MONEY D F, SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME : THE VITAMIN E / SELENIUM IRON HYPOTHESIS (DIETARY ANTI/PRO-OXIDANT IMBALANCE), MED HYPOTHESES, 39(3):286-90, 1992
- 1913) REID G M, SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME (SIDS) AND THE IMMUNE RESPONSE, MED HYPOTH-

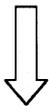
- ESES, 39 (2):127-9, 1992
- 1914) PATON A W, PATON J C, HEUZENROEDER M W, GOLDWATER P N, MANNING P A. CLONING AND NUCLEOTIDE SEQUENCE OF A VARIANT SHIGA-LIKE TOXIN II GENE FROM ESCHERICHIA COLI OX3:H21 ISOLATED FROM A CASE OF SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME, MICROB PATHOG, 13 (3):225-36, 1992
- 1915) SCHOENDORF K C, KIELY J L. RELATIONSHIP OF SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME TO MATERNAL SMOKING DURING AND AFTER PREGNANCY, PEDIATRICS, 90(6):905-8, 1992
- 1916) THE INFANT HOME MONITORING DILEMMA. FETUS AND NEWBORN COMMITTEE, CANADIAN PAEDIATRIC SOCIETY, CAN MED ASSOC J, 1:147 (11) 1661-9, 1992
- 1917) VALDES-DAPENA M. THE SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME : PATHOLOGIC FINDINGS, CLIN PERINATOL, 19(4):701-16, 1992
- 1918) HOFFMAN H J, HILLMAN L S. EPIDEMIOLOGY OF THE SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME : MATERNAL NEONATAL AND POSTNEONATAL RISK FACTORS, CLIN PERINATOL, 19(4):717-37, 1992
- 1919) HUNT C E. THE CARDIORESPIRATORY CONTROL HYPOTHESIS FOR SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME, CLIN PERINATOL, 19(4):757-71, 1992
- 1920) BEAL S M. SIBLINGS OF SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME VICTIMS, CLIN PERINATOL, 19 (4):839-48, 1992
- 1921) WARD S L, KEENS T G. PRENATAL SUBSTANCE ABUSE, CLIN PERINATOL, 19(4):849-60, 1992
- 1922) SHANNON D C. PROSPECTIVE IDENTIFICATION OF THE RISK OF SIDS, CLIN PERINATOL, 19 (4):861-9, 1992
- 1923) SPITZER A R, GIBSON E. HOME MONITORING, CLIN PERINATOL, 19(4):907-26, 1992
- 1924) GOLDBERG J. THE COUNSELING OF SIDS PARENTS, CLIN PERINATOL, 19(4):927-38, 1992
- 1925) BROOKS J G, FLEMING P J, BERRY P J, GOLDING J. EVALUATION OF THE OXFORD AND SHEFFIELD SIDS RISK PREDICUM, PEDIATR PULMONOL, 14 (3) 171-9, 1992
- 1926) HEGYI T. SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME IN 1992 : THE KNOWN AND UNKNOWN, N J MED, 89(9):666-8, 1992
- 1927) RYAN T, OSTFELD B, BUCKALEW P, HEGYI T. SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME IN NEW JERSEY : 1991, N J MED, 89(9):670-3, 1992
- 1928) CARBONE M T. SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME AND SUBSEQUENTS SIBLINGS, N J MED, 89(9):684-6, 1992
- 1929) BENNETT M J, HALE D E. MEDIUM CHAIN ACYL-COENZYME A DEHYDROGENASE DEFICIENCY, N J MED, 89(9):675-8, 1992
- 1930) GAFFNEY D A. SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME : LOSS AND BEREAVEMENT, N J MED, 89(9):680-2, 1992
- 1931) KOONS A H. NEURODEVELOPMENTAL OUTCOME IN INFANTS WITH APNEA, N J MED, 89(9):688-90, 1992
- 1932) OSTFELD B M, BUKALEW P, N J SIDS RESOURCE CENTER : PROGRAM FOR BEREAVED FAMILIES, N J MED, 89(9):693-6, 1992
- 1933) GRAFF M A, RAMOS D G. SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME : AN OVERVIEW, N J MED, 89 (9):699-700, 1992
- 1934) STRAMBA-BADIALE M, LAZZAROTTI M, SCHWARTZ P J. DEVELOPMENT OF CARDIAC INNERVATION, VENTRICULAR FIBRILLATION, AND SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME, AM J PHYSIOL, 263(5PT2)H1514-, 1992
- 1935) MITCHELL E A, TAYLOR B J, FORD R P K, STEWART A W S, BECROFT D M O, THOMPSON J M D, HASSALL I B, SCRAGG R, BARRY D M J, ALLEN E M, ROBERTS A P. FOUR MODIFIABLE AND OTHER MAJOR RISK FACTORS FOR COT DEATH : THE NEW ZEALAND STUDY, J PAEDIATR CHILD HEALTH, 28 SUPPL 1:S3-8, 1992
- 1936) MITCHELL E A, FORD R P K, TAYLOR B J, STWART A W, BECROFT D M O, SCRAGG R, BARRY D M J, ALLEN E M, ROBERTS A P, HASSALL I B. FURTHER EVIDENCE SUPPORTING A CAUSAL RELATIONSHIP BETWEEN PRONE SLEEPING POSITION AND SIDS, J PAEDIATR CHILD HEALTH, 28 SUPPL1:S9-12, 1992
- 1937) MITCHELL E A, THOMPSON J M D, STEWART A W, WEBSTER M L, TAYLOR B J, HASSALL I B, ORD R P K, ALLEN E M, SCRAGG R, BECROFT D M O. POSTNATAL DEPRESSION AND SIDS : A PROSPECTIVE STUDY, J PAEDIATR CHILD HEALTH, 28 SUPPL1:S13-6, 1992
- 1938) MITCHELL E A, HASSALL I B, SCRAGG R, TAYLOR B J, FORD R P K, ALLEN E M, THE NEW ZEALAND COT DEATH STUDY : SOME LEGAL AND ETHICAL ISSUES, J PAEDIATR CHILD HEALTH, 28SUPPL1:S17-20, 1992
- 1939) PONSONBY A L, DWYER T, COCHRANE J A, GIBBONS L E, JONES M E. CHARACTERISTICS OF THE INFANT THERMAL ENVIRONMENT IN THE CONTROL POPULATION OF A CASE-CONTROL STUDY OF SIDS, J PAEDIATR CHILD HEALTH, 28SUPPL1:S36-40, 1992
- 1940) 水田 隆三, 小児救急医療 救急疾患の診断と救急治療 外傷・事故 乳幼児突然死症候群, 小児診療, 55(4):902-907, 1992
- 1941) 橋本 信男, 小児救急医療 救急疾患の診断と救急治療 外傷・事故・突然死, 小児診療, 55(4):896-901, 1992
- 1942) 瀬戸 真澄, 無呼吸発作と未熟型乳児突然死症候群 (NEARMISS SIDS) を合併した RSV 感染症の臨床的検討 (会), 感染症学雑誌, 66(8):1145-6, 1992
- 1943) 大岡 真彦, 伊藤 三吾, 吉村澄子, 小児の突然死. 突然死とは., 小児内科, 24(8):1171-3, 1992
- 1944) 渡辺 登, 小児の突然死. 乳幼児突然死症候群 (SIDS) とは, 小児内科, 24(8):1175-9, 1992
- 1945) 長谷川 久弥, 小児の突然死 SIDS と新生児の異常, 小児内科, 24(8):1181-7, 1992
- 1946) 永井 敏郎, SIDS と無呼吸発作, 小児内科, 24 (8):1189-93, 1992
- 1947) 藤岡 暁久, SIDS と胃食道逆流, 小児内科, 24 (8):1195-8, 1992
- 1948) 神山 潤, 下平 雅之, 岩川 善英, SIDS と睡眠ポリグラフイー, 小児内科, 24 (8):1199-1205, 1992
- 1949) 乾 道夫, SIDS の病理, 小児内科, 24 (8):40-43, 1992
- 1950) 橋本 信男, 小児の救急医療 救命・救急処置 乳幼児突然死症候群 (SIDS), 小児内科, 24 (増刊) 176-180, 1992
- 1951) 浅沼 勝美, 剖検例にみる新生児突然死, 周産期医学, 22(3):385-8, 1992
- 1952) 加藤 稲子, 戸苅 創, 周産期における突然死と事故. 新生児突然死の疫学的検討, 周産期医, 22(3)333-6, 1992
- 1953) 仁志田 博司, 周産期における突然死と事故 乳幼児突然死症候群 (SIDS), 周産期医, 22(3)337-43, 1992
- 1954) 白井 徳満, 周産期における突然死と事故. 突然死で新生児を失った家族への対応, 周産期医学, 22(3)353-5, 1992
- 1955) 武井 宏澄, 周産期における突然死と事故 新生児突然死のケースレポートから, 周産期医, 22(3)381-4, 1992
- 1956) 赤松 洋, 周産期における突然死と事故 新生児突然死の予防, 周産期医, 22(3)371-4, 1992
- 1957) TAYLOR E M, SPENCER N J, CARPENTER R G, EVA-

- LUATION OF ATTEMPTED PREVENTION OF UNEXPECTED INFANT DEATH IN VERY HIGH-RISK INFANTS BY PLANNED HEALTH CARE. *ACTA PAEDIATR*, 82(1):83-6, 1993
- 1958) GILBERT-BARNES E. IS SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME A CAUSE OF DEATH? [EDITORIAL]. *AM J DIS CHILD*, 147(1):25-6, 1993
- 1959) KEMP J S, THACH B T. A SLEEP POSITION-DEPENDENT MECHANISM FOR INFANT DEATH ON SHEEPSKINS. *AM J DIS CHILD*, 147(6):642-6, 1993
- 1960) LEISS J K, SUCHINDRAN C M. AGE AND SEASON OF BIRTH IN SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME IN NORTH CAROLINA, 1982-1987: NO INTERACTION. *AM J EPIDEMIOL*, 137(2):207-12, 1993
- 1961) GIBBONS L E, PONSONBY A L, DWYER T. A COMPARISON OF PROSPECTIVE AND RETROSPECTIVE RESPONSES ON SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME BY CASE AND CONTROL MOTHERS. *AM J EPIDEMIOL*, 137(6):654-9, 1993
- 1962) PINCUS S M, CUMMINS T R, HADDAD G G. HEART RATE CONTROL IN NORMAL AND ABORTED-SIDS INFANTS. *AM J PHYSIOL*, 264(3PT2):R638-, 1993
- 1963) GILBERT-BARNES E, KENISON K, CARVER J. FETAL HEMOGLOBIN AND SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME. *ARCH PATHOL LAB MED*, 117(2):177-9, 1993
- 1964) FINLAY F O, RUDD P T. CURRENT CONCEPTS OF THE AETIOLOGY OF SIDS. *BR J HOSP MED*, 49(10):727-32, 1993
- 1965) MITCHELL E A, STEWART A W, SCRAGG R, FORD R P K, TAYLOR B J, BECROFT D M O, THOMPSON J M D, HASSALL I B, BARRY D M J, ALLEN E M, ROBERTS A P. ETHNIC DIFFERENCES IN MORTALITY FROM SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME IN NEW ZEALAND. *B M J*, 306(6869):13-6, 1993
- 1966) GANTLEY M, DAVIES D P, MURCOTT A M. SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME: LINKS WITH INFANT CARE PRACTICES. *B M J*, 306(6869):16-20, 1993
- 1967) HUBER J. SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME: THE NEW CLOTHES OF THE EMPEROR. *EUR J PEDIATR*, 152(2):93-4, 1993
- 1968) SCOTT A, CAMPBELL H, GORMAN D. SUDDEN INFANT DEATH IN SCOTLAND [LETTER]. *B M J*, 306(6871):211-2, 1993
- 1969) MITCHELL E A, TONKIN S. PUBLICITY AND INFANTS' SLEEPING POSITION [LETTER]. *B M J*, 306(6881):858, 1993
- 1970) ODENT M. SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME [LETTER]. *B M J*, 306(6883):999-, 1993
- 1971) BANKS E, GIFFORD S. SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME [LETTER]. *B M J*, 306(6883):1000, 1993
- 1972) SAADI A T, BLACKWELL C C, RAZA M W, JAMES V S, STEWART J, ELTON R A, WEIR D M. FACTORS ENHANCING ADHERENCE OF TOXIGENIC STAPHYLOCOCCUS AUREUS TO EPITHELIAL CELLS AND THEIR POSSIBLE ROLE IN SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME. *EPIDEMIOL INFECT*, 110(3):507-17, 1993
- 1973) LI D K, SPIERS P S. THE EFFECT OF PARITY ON THE RELATION BETWEEN MATERNAL HISTORY OF SPONTANEOUS PREGNANCY LOSS AND THE RISK OF SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME IN OFFSPRING. *EPIDEMIOLOGY*, 4(1):48-54, 1993
- 1974) BETTELHEIM K A, EVANGELIDIS H, PEARCE J L, GOLDWATER P N, LUKE P K J. THE ISOLATION OF CYTOTOXIC NECROTIZING FACTOR (CNF) - PRODUCING ESCHERICHIA COLI FROM THE INTESTINAL CONTENTS OF BABIES WHO DIED OF SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME (SIDS) AND OTHER CAUSES AS WELL AS FROM-. *COMP IMMUN MICROBIO INFECT*, 16(1):87-90, 1993
- 1975) ARRUNDAL E J. NUMBERS OF INFANT DEATHS IN SCOTLAND, WITH SPECIAL REFERENCE TO SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME. *HEALTH BULL (EDINB)*, 51(2):106-17, 1993
- 1976) GOLDING J. SPACE TIME CLUSTERING OF BIRTH IN SIDS [LETTER]. *INT J EPIDEMIOL*, 22(1):170, 1993
- 1977) LARROQUE B, BOUVIER-COLLE M H. SPACE TIME CLUSTERING OF BIRTHS IN SIDS [LETTER]. *INT J EPIDEMIOL*, 22(2):358-9, 1993
- 1978) MORIN-SURUN M P, BOUDINOT E, FOURNTE-ZALUSKI M C, CHAMPAGNAT J, ROQUES B P, DENAVITSAUBIE M. CONTROL OF BREATHING BY ENDOGENOUS OPIOID PEPTIDES: POSSIBLE INVOLVEMENT IN SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME. *NEUROCHEM INT*, 20(1):103-7, 1992
- 1979) SCHWEITZER P. IN VITRO STUDY OF NEWBORN RAT BRAIN MATURATION: IMPLICATION FOR SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME. *NEUROCHEM INT*, 20(1):109-12, 1992
- 1980) GOODMAN N W. GAMBLING ON THE GENERATION GAME. *BR J HOSP MED*, 49(10):744, 1993
- 1981) GOLDWATER P N. REAPPRAISAL OF THE SIDS ENIGMA: AN EPIDEMIOLOGICAL AND CLINICOPATHOLOGICAL APPROACH. *J PAEDIATR CHILD HEALTH*, 28SUPPL1:S21-5, 1992
- 1982) LUNDEMOSSE J B, SMITH H, SWEET C. CYTOKINE RELEASE FROM HUMAN PERIPHERAL BLOOD LEUCOCYTES INCUBATED WITH ENDOTOXIN WITH AND WITHOUT PRIOR INFECTION WITH INFLUENZA VIRUS: RELEVANCE TO THE SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME. *INT J EXP PATHOL*, 74(3):291-7, 1993
- 1983) BLACKWELL C C. THE POTENTIAL ROLE OF BACTERIAL TOXINS IN SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME (SIDS). *INT J LEGAL MED*, 105(6):333-8, 1993
- 1984) STEWART A W. NEW ZEALAND COT DEATH STUDY AND MISSING DATA [LETTER]. *J PAEDIATR CHILD HEALTH*, 29(1):70, 1993
- 1985) SPIERS P S, LOHMANN R, GUNTHEROTH W G. BIRTH ORDER AND RISK OF SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME: IS THE TRUE RELATIONSHIP NEGATIVE?. *J PAEDIATR CHILD HEALTH*, 29(3):215-8, 1993
- 1986) BURTON J L. INVESTIGATING SIDS AND OTHER INFANT DEATHS. *J MED ASSOC GA*, 81(8):433-6, 1992
- 1987) CADDELL J L. HYPOTHESIS: NEW CONCEPTS CONCERNING THE PATHOPHYSIOLOGY OF THE SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME DUE TO MAGNESIUM DEFICIENCY SHOCK. *MAGNES RES*, 5(3):165-72, 1992
- 1988) VALMAN B. FROM COT DEATH TO INFANT TRIGGERED VENTILATION. *ARCH DIS CHILD*, 68(3):420-2, 1993
- 1989) MITCHELL E A, TAYLOR B J, FORD R P K, STEWART A W, BECROFT D M O, THOMPSON J M D, SCRAGG R, HASSALL I B, BARRY D M J, ALLEN E M, ROBERTS A P. DUMMIES AND THE SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME. *ARCH DIS CHILD*, 68(4):501-4, 1993
- 1990) SAMUELS M, SOUTHWALL D. HEMORRHAGIC SHOCK ENCEPHALOPATHY OR NEAR MISS SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME? [LETTER]. *ARCH DIS CHILD*, 68(4):526, 1993
- 1991) GREEN A. BIOCHEMICAL SCREENING IN NEWBORN SIBLINGS OF CASES OF SIDS. *ARCH DIS CHILD*, 68(6):793-6, 1993
- 1992) SVERD J, MONTERO G. IS TOURETTE SYNDROME A CAUSE OF SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME AND CHILDHOOD OBSTRUCTIVE SLEEP APNEA?. *AM J MED GENET*, 46(5):494-6, 1993

- 1993) SCHAFFER T, SCHAFFER D, SCHLAFKE M E, BREATHING, TRANSCUTANEOUS BLOOD GASES, AND CO₂ RESPONSE IN SIDS SIBLINGS AND CONTROL INFANTS DURING SLEEP, *JAPPL PHYSIOL*, 74(1):88-102, 1993
- 1994) BYARD R W, FOSTER B K, BYERS S, IMMUNOHISTOCHEMICAL CHARACTERISATION OF THE COSTOCHONDRAL JUNCTION IN SIDS, *J CLIN PATHOL*, 46(2):108-12, 1993
- 1995) KALARIA R N, FIEDLER C, HUNSAKER III J C, SPARKS D L, SYNAPTIC NEUROCHEMISTRY OF HUMAN STRIATUM DURING DEVELOPMENT : CHANGES IN SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME, *J NEUROCHEM*, 60(6):2098-105, 1993
- 1996) ARENS R, GOZAL D, JAIN K, MUSCATI S, HEUSER E T, WILLIAMS J C, KEENS T G, WARD S L D, PREVALENCE OF MEDIUM-CHAIN ACYL-COENZYME A DEHYDROGENASE DEFICIENCY IN THE SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME, *J PEDIATR*, 122(5PT1):715-8, 1993
- 1997) KEMP J S, KOWALSKI R M, BURCH P M, GRAHAM M A, THACH B T, UNINTENTIONAL SUFFOCATION BY REBREATHING : A DEATH SCENE AND PHYSIOLOGIC INVESTIGATION OF A POSSIBLE CAUSE OF SUDDEN INFANT DEATH, *J PEDIATR*, 122(6):874-80, 1993
- 1998) GUILLEMINAULT C, STOOHS R, SKROBAL A, LABANOWSKI M, SIMMONS J, UPPER AIRWAY RESISTANCE IN INFANT AT RISK FOR SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME, *J PEDIATR*, 122(6):881-6, 1993
- 1999) KANDALL S R, GAINES J, DAVIDSON G, JESSOP D, RELATIONSHIP OF MATERNAL SUBSTANCE ABUSE TO SUBSEQUENT SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME IN OFFSPRING, *J PEDIATR*, 123(1):120-6, 1993
- 2000) POULSEN J P, ROGNUM T O, HAUGE S, OYASAETER S, SAUGSTAD O D, POST-MORTEM CONCENTRATIONS OF HYPOXANTHINE IN THE VITREOUS HUMOR - A COMPARISON BETWEEN BABIES WITH SEVERE RESPIRATORY FAILURE, CONGENITAL ABNORMALITIES OF THE HEART, AND VICTIMS OF SIDS, *J PERINA MED*, 21(2):153-63, 1993
- 2001) LEWIS J, SAMUELS M, SOUTHALL D, IS THE DECLINE IN COT DEATHS DUE TO CHILD-HEALTH REORGANISATION? [LETTER], *LANCET*, 341(8836):51, 1993
- 2002) SMEITINK J A, FISCHER J C, RUTTENBEEK W, DURAN M, HOFKAMP M, BENTLAGE H A J M, POLL-TIIE B T, SUDDEN INFANT DEATH ASSOCIATED WITH DEFECTIVE OXIDATIVE PHOSPHORYLATION [LETTER], *LANCET*, 341(8860):1601, 1993
- 2003) RIMELL , GODING G S, JOHNSON K, CHOLINERGIC AGENTS IN THE LARYNGEAL CHEMOREFLEX MODEL OF SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME, *LARYNGOSCOPE*, 103(6):623-30, 1993
- 2004) ANDERSON S C, MURRELL W G, O' NEILL C C, RAHILLY P M, EFFECT OF AMBIENT TEMPERATURE ON SIDS RATE, *MED J AUST*, 158(10):703-4, 1993
- 2005) BEAL S M, SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME (SIDS) IN SOUTH AUSTRALIA RELATED TO SLEEPING CONDITIONS [LETTER], *MED J AUST*, 158(10):723, 1993
- 2006) ASHWORTH T G, COT DEATH AND ANAL ABUSE -- (WAS I RIGHT IN DISREGARDING THE ALLEGED AND ABUSE ?), *MED SCI LAW*, 33(2):171-2, 1993
- 2007) CORNWELL A C, SEX DIFFERENCES IN THE MATURATION OF SLEEP/WAKE PATTERNS IN HIGH RISK FOR SIDS INFANT, *NEUROPEDIATRICS*, 24(1):8-14, 1993
- 2008) KOPP N, CHIGR F, DENOROY L, GILLY R, JORDAN D, ABSENCE OF ADRENERGIC NEURONS IN NUCLEUS TRACTUS SOLITARIUS IN SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME, *NEUROPEDIATRICS*, 24(1):25-9, 1993
- 2009) POETS C F, SOUTHALL D P, PRONE SLEEPING POSITION AND SUDDEN INFANT DEATH [EDITORIAL], *N ENG J MED*, 329(6):425-6, 1993
- 2010) PONSONBY A L, SCI B M, DWYER T, GIBBONS L E, COCHRANE J A, WANG Y G., FACTORS POTENTIATING THE RISK OF SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME ASSOCIATED WITH THE PRONE POSITION, *N ENGL J MED*, 329(56):377-82, 1993
- 2011) HINDLE R C, COT DEATH [LETTER], *N Z MED J*, 106(953):142, 1993
- 2012) SCRAGG L K, MITCHELL E A, TONKIN S L, HASSALL I B, EVALUATION OF THE COT DEATH PREVENTION PROGRAMME IN SOUTH AUCKLAND, *N Z MED J*, 106(948):8-10, 1993
- 2013) KARAGAS M R, HOLLENBACH K A, HICKOK D E, DALING JR, INDUCTION OF LABOR AND RISK OF SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME, *OBSTET GYNECOL*, 81(4):497-501, 1993
- 2014) BULTERY S M, LEPAGE P, HITIMANA D G, DUSHIMANA A, VAN DE PERRE P, SAAH A, SUDDEN INFANT DEATH AMONG CHILDREN BORN TO WOMAN WITH HUMAN IMMUNODEFICIENCY VIRUS TYPE 1 INFECTION [LETTER], *PEDIATR INFECT DIS J*, 12(2):172, 1993
- 2015) CARROLL J L, SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME, *PEDIATR REV*, 14(3):83-93, 1993
- 2016) POLLITT R J, DEFECTS IN MITOCHONDRIAL FATTY ACID OXIDATION : CLINICAL PRESENTATIONS AND THEIR ROLE IN SUDDEN INFANT DEATH, *PADIATR PADOL*, 28(1):13-7, 1993
- 2017) BYARD R W, MOORE L, GASTROESOPHAGEAL REFLUX AND SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME, *PEDIATR PATHOL*, 13(1):53-7, 1993
- 2018) HINCHLIFFE S A, HOWARD C V, LYNCH M R J, SARGENT P H, JUDD B A, VAN VELZEN D, RENAL DEVELOPMENTAL ARREST IN SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME, *PEDIATR PATHOL*, 13(3):333-43, 1993
- 2019) HOPPENBROUWERS T, HODGMAN J E, CABAL L, OBSTRUCTIVE APNEA ASSOCIATED PATTERNS OF MOVEMENT, HEART RATE, AND OXYGENATION IN INFANTS AT LOW AND INCREASED RISK FOR SIDS, *PEDIATR PULMONOL*, 15(1):1-12, 1993
- 2020) HAAS J E, TAYLOR J A, BERGMAN A B, VAN BELLE G, FELGENHAUER J L, SIEBERT J R, BENJAMIN D R, RELATIONSHIP BETWEEN EPIDEMIOLOGIC RISK FACTORS AND CLINICOPATHOLOGIC FINDINGS IN THE SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME, *PEDIATRICS*, 91(1):106-12, 1993
- 2021) BASS M, HASS R, SIDS AND HOMICIDE [LETTER], *PEDIATRICS*, 92(2):302-3, 1993
- 2022) REECE R M, FATAL CHILD ABUSE AND SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME : A CRITICAL DIAGNOSTIC DECISION, *PEDIATRICS*, 91(2):423-9, 1993
- 2023) GUNTHEROTH W G, SPIERS P, SIDS AND SLEEPING POSITION [LETTER], *PEDIATRICS*, 91(2):510-2, 1993
- 2024) NICHOLS M M, SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME AND SLEEPING POSITION [LETTER], *PEDIATRICS*, 91(4):852-3, 1993
- 2025) MITCHELL E A, FORD R P K, STEWART A W, TAYLOR B J, BECROFT D M O, THOMPSON J M D, SCRAGG R, HASSALL L B, BARRY D M J, ALLEN E M, ROBERTS A P, SMOKING AND THE SUDDEN INANT DEATH SYNDROME, *PEDIATRICS*, 91(5):893-6, 1993
- 2026) LEMIEUX B, GIGUERE R, CYR D, SHAPCOTT D, MCCANN M, TUCHMAN M, SCREENING URINE OF 3-WEEK-OLD NEWBORNS. : LACK OF ASSOCIATION BETWEEN SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME AND SOME METABOLIC DISORDERS., *PEDIATRICS*, 91(5):

986-8, 1993

- 2027) MCKENNA J J. INFANT-PARENT CO-SLEEPING IN AN EVOLUTIONARY PERSPECTIVE: IMPLICATIONS FOR UNDERSTANDING INFANT DEATH SYNDROME. SLEEP, 16(3):263-82(12, 1993
- 2028) MYERBERG D Z. SLEEPING POSITIONING AND THE SUDDEN INFANT DEATH SYNDROME. WEST J MED. 158(2):181-2, 1993
- 2029) 渡辺 登, 坂上 正道, 八代 公夫, 門井 伸暁, 四倉 正博, . 神奈川県における乳幼児突然死症候群(SIDS)の発生状況—県下医療機関へのアンケート調査から—, 日本小児科学会雑誌, 96(5)1219-24, 1992



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:1992年～1993年度に医学中央雑誌及び Index Medicus に見られた SIDS 関連文献 208 編の文献学的検索を行った。疫学では、イングランド・ウェールズの 1.3、イスラエルの 0.47～0.90、ニュージーランドの 3.53、神奈川県 0.34 という発生頻度の報告がみられ、うつ伏せ寝を止めれば本症は減少するという報告が多く、添い寝との関係を論じる報告もみられた。病因・病態では、昨年度に引続き、脳幹部の形態と機能に関するものが多くみられたが、感染も発症と密接な関係にあるのではないかという報告も見られた。スクリーニング、ホームモニタリング、家族への対応といった分野では総説が主であり、研究論文の報告はほとんど見られなかった。